



太陽の子保育園平成26年12月

年末年始は、何かと忙しく気ぜわしいものです。普段よりたくさんの方がいるのに、ついっか子どもから目を離してしまうこともあります。事故やけがのないようにすごしましょう。

中学校で

学級閉鎖が出ています！

インフルエンザが気になる季節

寒い季節、まだまだインフルエンザは猛威をふるっています。インフルエンザにかからないために、日々の生活リズムを整え、予防していきましょう。

- ・外出後はうがい・手洗いをする。
- ・早寝早起きをする。
- ・3食きちんとバランスのとれたものを食べる。
- ・適度な湿度、換気を心がける。



0歳児健康診断
12月17日(水)
15:00から

RSウイルス感染症

例年を上回るペースで増加中!!

RSウイルス感染症は、呼吸器の病気で、生後2歳までにほぼ100%の子どもが一度は感染するとされています。その後も、くり返し感染・発病しますが、乳児が初めて感染したときには症状が重くなりやすいので、生後数週間～数カ月の赤ちゃんには感染させないよう、注意が必要です。

大きくなると、軽いかぜのような症状だけですむことが多く、気づかないうちに、家族から赤ちゃんに感染することがあります。咳やくしゃみのしぶきや、ウイルスのついた手を通じて感染するので、家庭内でも、せきエチケット・せっけんによる手洗いをしっかり実行してください。

11月感染症

水痘…1名
溶連菌…2名
下痢…2名

見えない デザートのアルコール分に注意!!

洋菓子には、香りづけや風味をよくするため、洋酒を加えることがあります。大人は気づかない程度でも、体の小さな子どもには、お酒を飲んだのと同じ状態になることがあり、危険です。

子どもに食べさせる洋菓子を買うときには、表示を見たり、店の人に尋ねたりしてアルコールが含まれていないか、確認するとよいでしょう。また、大人が食べて洋酒の風味がするものは、子どもに食べさせてはいけません。

クリスマスや年末年始で、デザートを口にすることも多い時期ですから、特に気をつけてください。

やけどの処置

熱いお茶やストーブなど、子どもにとって危険なものはいっぱいあります。もし誤ってやけどをしてしまったら、落ちついて対処しましょう。

やけどには1度、2度、3度と程度があります。1度…赤くなり、ひりひりします。2度…水泡ができて、痛みも強いです。3度…感覚がない。皮膚が黒くこげたり、白く変色したりします。

※すぐに水で冷やす応急処置をして、病院へ行きましょう。

手足のやけど
水道水で30分くらい冷やし、痛みや熱さが感じられなくなったら病院へ行きます。

胸・おなかのやけど
すぐホースで水をかけるか、水風呂につけて冷やします。服は脱がせるか、切るか、そのままか、そのときの状況によります。やけどの部分に軽くガーゼを当て、病院へ行きます。 ※すぐに水につけて冷やすことが原則です。

子どもの様子をチェック

<input type="checkbox"/> 寒そうにしている <input type="checkbox"/> 顔色が悪い <input type="checkbox"/> 手足が冷たい	<input type="checkbox"/> 暑がっている <input type="checkbox"/> 顔が赤い <input type="checkbox"/> 汗をかいている
体温の上がりをはじめです	体温が上がりきっています
暖かくする ●衣服を重ね着したり、毛布をかけたたりして保温を ●温かい飲みものを与える →お茶や温めた果汁など。	涼しくする ●薄手で、脱ぎ着しやすい服装に →汗をかいたら、こまめに着替えさせましょう。 ●こまめに水分補給を

気をつけること

- 自己判断で、下痢止めなどの薬を使わない
→薬は、必ず医師の指示のもとで服用しましょう。
- 子どもの様子を観察する
→下痢やおう吐が続くときは、脱水症状に注意。
- とれる範囲で水分補給を
→少しずつ、時間をおいて。

脱水状態をチェック

- 水分がとれていない
- くちびるが乾いている
- 皮ふがかさついている
- おしっこの量が少なく、濃い

★上のような様子のときは、早めにかかりつけ医に連絡を。

!! ここにも注意 !!

★赤ちゃんに冷却ジェルシートを使うとき
寝返りなどで位置がずれて、鼻や口をふさがないように気をつけましょう。

★おうちのかたも 感染予防
看病する人まで感染すると大変!! マスクをしたり、看病の前後にはせっけんで手を洗うなど、感染予防対策を。